

令和5年度 島根県保健体育功労者紹介 (敬称略 校種別に50音順)

いいつか こう 飯塚 孝 出雲市立西田小学校	歴任校において、児童の体力や技能の向上、保健学習の充実・発展に積極的に取り組んだ。特に器械運動においては、体操大会や授業等を通して、児童の運動能力や技術力及び競技力の向上に努めた。また、児童への指導のみならず、指導技術、実技指導など現場で指導にあたる教職員への伝達、指導も行うことにより、指導者のスキルアップに貢献した。
うわべ たかお 上部 孝雄 浜田市立原井小学校	歴任校において、仲間とともに泳ぐ楽しさを味わう水泳学習をテーマに実践研究に取り組んだ。検定基準や指導資料集の作成、授業づくりや実技研修会の講師等を通して、県内における水泳学習の普及発展に大きく貢献した。平成30年度からは、大田市学校体育研究連合会長として、市表現ダンス発表会や県ダンス指導者研修会等の開催に尽力した。
かじたに さとる 梶谷 悟 出雲市立今市小学校	歴任校において、児童の体力・運動能力の向上や健康教育の推進に積極的に取り組んだ。県保健体育課健康づくり推進室の指導主事及び同課生涯スポーツ振興グループの指導主事兼社会教育主事として、学校保健及び学校体育、障がい者スポーツ、就学前の運動遊びに関わる業務や指導・助言を行い、島根県の健康教育、学校体育の推進・発展に寄与した。
かわすみ ともゆき 川角 朋之 奥出雲町立八川小学校	歴任校において、児童の体力向上と健康づくりに積極的に取り組んだ。平成7年度からは、文部省体力づくり研究実践校の指定を受け、研究主任として実践研究に取り組んだほか、出雲教育事務所指導主事や雲南市、仁多郡で小学校体育連盟会長を務めるなど、長きにわたり県内の体育授業のレベルアップはもとより、人材育成や競技力向上にも貢献した。
たなか あきこ 田中 晶子 松江市立中央小学校	体育の指導に関心をもち、表現運動発表会に参加したり、体育主任として校内の体力向上推進に努めたりした。第48回全国学校体育研究大会島根大会では、体づくり運動の授業を公開し、『シンクロ縄跳び』の単元を開発した。令和4年度からは、県学校体育研究連合会ダンス研修部会の会長として、諸活動が円滑かつ活発に推進されるように尽力した。
つかだ ひでき 塚田 英樹 出雲市立大津小学校	歴任校において、小学校体育の研究に中心となって取り組んだ。平成21年度からは、県教育センター指導主事及び県保健体育課指導主事として、県内の子どもの体力向上と学校体育の充実のために尽力した。県保健体育課在職中は、教師用のDVD教材「体育の授業が楽しくなるシリーズ」を作成し、全県の小・中学校に配布し、教師の指導力向上に努めた。
のつ あきひさ 野津 明久 松江市立乃木小学校	歴任校において、教材開発や評価の在り方など授業改善の研究と実践を進めた。平成27年度からは、県保健体育課指導主事として県内の体育学習の充実に尽力した。また、全国教育委員会・学校関係者を対象としたスポーツ庁主催「体育・保健体育学習協議会」では、シンポジウムで「保健」領域の発表を行うことにより、授業の改善・充実に寄与した。
はしがさこ じゅん 橋ヶ迫 純 浜田市立岡見小学校	平成7年度から在籍した周布小では、体育主任として島根県の体力づくり推進指定校の取組を中心的な立場で行い、本県の体力づくり推進に大きく貢献した。平成10年度には、障害走と走り幅跳びの研究発表を行い、指導の実際としてまとめた冊子を市内全小学校に配付したり、島根県教育研究会の機会でも発表したりし、県内の体育指導充実に尽力した。
あだち まさはる 安達 正治 松江市立第四中学校	中学校の保健体育科教員として体育授業実践を通して研鑽を積んだ。島根大学教育学部附属中では、場の設定の工夫や視覚支援教材の工夫等により、生徒が自ら主体的に取り組むことができる授業づくりを実践した。令和3年度からは県中学校体育連盟会長に就任し、県内の中学校スポーツ大会の開催や競技力向上の推進役として活躍した。
ながい 永井 ひとみ 島根県立浜田高等学校	体育の授業では、運動やスポーツの楽しさを感じさせる授業をすることで、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てた。松江東高校在籍時は、自身の体操競技の専門性を活かして、マット運動と跳び箱運動の検定ノートを作成し、生徒の主体的な学習へと導いた。また、長年体操専門部の振興並びに各種競技会の運営を務めた。